

経済文教常任委員会
(5月29日開催)

1 調査事項

(1) 徳富ダム の 湛水 状況 に ついて (現地調査)



徳富ダム湛水状況

平成14年に洪水調整・流水の正常な機能の維持・かんがい用水及び水道水の供給を目的に着工された徳富ダムは、湛水（水をためる）試験を開始した。

5月29日の時点で、ダム湖水位は308m。引き続き、災害時を想定した最大水位313・4mまで湛水した後、ダムへの圧力や堤体の変異等の調査を経て、平成27年度の全面供用を目指していた。

(2) 小中学校特別支援教育に ついて

本町では、配置定数に応じた教員数を確保し、個別の教育指導計画や支援計画に沿った学習指導を行なっている。さらに、小・中学校全体のサポートを目的とした支援員や介助員も配置し、特別支援教育の理念「障害のある児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の基礎となるもの」に基づいた教育活動を進めている。

今年度、文部科学省の直轄事業として全国で60校、道内では本町中学校1校のみがモデル校に指定された「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」は、病弱学級を中心に、今後の特別支援教育の環境整備のあり方などについて実践研究を行うもの。

本事業において配置する「合理的配慮協力員」の協力を得て、実践事例や成果、課題の解決策などの普及を図ることを目的とする。

2 報告事項

(1) 公営住宅等長寿命化計画の概要について

新十津川町が管理する公営住宅は、17団地、58棟、379戸。現時点で耐用年限を経過している住宅は95戸（25・1%）、耐用年限の1/2を経過している住宅は92戸（24・3%）。

この計画は、安全で快適な住まいを長きにわたって確保するため、建替え、改善、維持保全などの公営住宅等の活用手法を定め、長期的な維持管理・改善計画を策定することを目的とする。また、予防保全的な観点から修繕や改善の計画を定め、長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を図ることとしている。

(2) 25年度の農産物ブランド化の取組みについて

○ブランド化推進活動支援事業
【申請】 1件

【申請金額】 28万4千円
このほか、生産団体を対象とした販路拡大事業を予定。

○ブランド農産物等出展支援
道内外のアンテナショップ
出展時の経費の一部助成。

○農産物イベント販売・PR
町内イベント（陶芸まつり、味覚まつり）や札幌市内で町内農産物の直売市を開催。

○農産物の6次産業化の推進
6次産業化に関する研修会の開催、派遣経費の助成。



平成24年の味覚まつり

(3) 農業農村整備事業の進捗状況

〔平成25年4月現在：単位千円〕

地区名	全体	24年度	24年まで計	25年度	25年まで計	26年度以降残
花月第2地区	1,727,590	1,025	1,727,590	0	1,727,590	0
新北部	2,855,000	435,905	1,182,344	540,440	1,722,784	1,132,216
新南部	1,526,000	307,192	782,422	315,100	1,097,522	428,478
新西部	1,745,000	351,179	752,424	301,600	1,054,024	690,976
中山間地域 防災吉野地区	250,530	0	250,530	0	250,530	0
新十津川地区 水利施設	87,801	77,616	87,801	0	87,801	0
計	8,191,921	1,172,917	4,783,111	1,157,140	5,940,251	2,251,670